

初めての図書館 ～ 図書館をあなたの居場所に

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今、このGaidai Bibliothecaを手に入れている皆さんの心境はいかがでしょう。きっと期待と不安が入り混じっているのではないのでしょうか。

図書館について、何も知らないと心配されている方もおられるかも知れません。しかし全てが初めてですので、知らなくて当たり前です。今の内に基本的な事を覚えて、図書館に通うのを日課にしてみてください。例えば授業と授業の隙間の時間、休講になった時やクラブの練習までの待ち時間など、空いている時間は結構あるものです。

図書館には本だけでなく、新聞や雑誌も揃っているので、これらを読みに来るだけでも構わないのです。勉強で疲れた頭をリフレッシュしてみませんか？ 図書館に通うのが日課になると、いつしか図書館が自分の「居場所」になります。この居場所で、学生という貴重な時間をゆったりと過ごして頂きたいと思うのです。

図書館の利用については、Library Guideで詳しい事をチェックして下さい。ここでは図書館を利用する際の、ちょっとしたコツについてお話します。

1. 図書館には、本館と分館の2つがあります！

本館は7号館の1階から入ります。数多くの日本語の本（和書）や洋書、新聞や雑誌等があります。分館（正式名称は「アジア関係図書館」）は、9号館（国際交流会館）の2階にあります。1階はカフェ・タローですから、その上になります。エレベータに乗る際は「2」のボタンを押しますが、階段を利用する場合は3階分の階段を上ります。中国関係の本や新聞、雑誌等は、基本的に分館に置かれています。

2. 入館する時は、学生証をお忘れなく！

入館する際には、本館でも分館でも学生証が必要です。学生証は本の貸出や返却、入庫（書庫に入る事）にも必要ですので、必ず持参してください。万一学生証を忘れて来た場合は、受付でその旨を伝えて下さい。なお学生証を忘れた場合には、貸出は出来ませんので充分注意して下さい。

3. 分館が閉館したら本館へ！

休暇期間中や特別開館日等を除き、通常は本館の方が開館時間は長いため、分館の方が早く閉館します。分館で利用していた資料は、引き続き本館へ持って行って利用出来ますので、カウンターに申し出て下さい。分館から持ち出した資料は、帰宅する際に本館のカウンターに返却して頂ければ結構です。なお、開館予定はホームページでも確認出来ますので、どうぞご利用下さい。

4. 貸出可能な冊数は？

「本館と分館では、それぞれ別々に貸出冊数が決められているのですか？」と質問される事があります。本館と分館はネットワークで結ばれていて、1つのシステムで運用されています。ですから本館と分館で資料の検索をしても同じ結果になりますし、貸出冊数は両方を合わせた数になります。例えば学部生・短大生の方であれば、本館と分館の両方で借りられる合計冊数が10冊という事になります。

上記以外にも判らない事は沢山あると思います。どうぞ遠慮なく質問して下さい。「こんな事を聞いたら笑われるのでは？」というのは無用の心配ですので、どしどし尋ねて下さい。皆さんのご利用を、心よりお待ちしております。

ふじい たつや（司書・係長・アジア関係図書館）